

丹波篠山山の芋通信 第17号

令和3年10月6日 丹波篠山山の芋推進協議会・丹波篠山ブランド産品戦略会議
(丹波篠山市・JA丹波ささやま・丹波県民局 丹波農業改良普及センター)

1 / 2

小丸種芋トレイ栽培 園芸培土の乾燥に注意!

9月下旬から降雨がないため、
トレイ内の培土が乾き、小丸種芋が小さい場合、
肥大促進のため灌水をおすすめします。

この
サイズ
ならOK



高収量のため 最も重要な土台は **排水 根の生育**

● なぜ排水が最も重要?

**水が長時間たまった部分は、
根が枯れるため。(元に戻らない)**

根が枯れると
茎葉に必要な水、肥料、ミネラルが
吸えない・・・
**新しい根は急に伸びない。
→生長が止まる。**

大雨の後、多くの圃場で
根が枯死していました



植える前から
勝負は
始まっている

即、排水できる谷溝なら
根は枯れない!

● 畝が高いほど、根が多く、被害も少ない傾向でした

今年の8月、
連日の降雨、
集中豪雨
等で、
谷水が10cm
たまった場合・・・



畝高30cmだと
畝いっぱいのが
3分の1なくなる



畝高20cmだと
もともと少ない根が
半分なくなる

台風後の
急激な高温
で
葉焼け多発



ますます
回復が遅れ、
負の連鎖が・・・

減収に?!



大雨が降っても、勝ち戦
土作りで根を増やし
畝を高くして防御!

お堀を深くして、城が高くなるんじよ

敵が攻めてきそうやのに
兵糧をケチり兵士を弱らせ
お堀も浅いままやと
負け戦やにい・・・



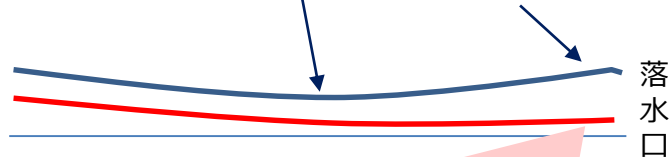
反収百万円
篤農家直伝！

秋・冬に絶対するべき 圃場準備 5つ

1 深耕（ゆっくり耕耘）

- ・落水口に近づくほど谷溝を低くするため
- ・畝を高くするため

普通に耕耘すると、中央が低く、落水口付近が高くなりがち



2 絶対に土を練らない

土が乾いた時に耕耘し、土に空気を含ませる

3 秋に、堆肥や籾殻を全層にすき込む

土に空気を含みやすくして、根張りを良くする

篤農家の耕耘テクニック：

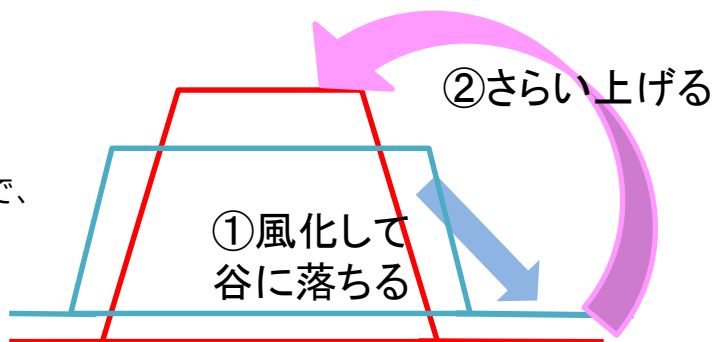
落水口付近を深く

（前作等の代かきで寄せるのも良い）

4 年内に畝を立て、土を風化させる

畝立て後、**厳寒期に凍る・溶ける**を繰り返すことで、風化した土は“芋地”に最適になる。

風化した良い土が、谷溝に落ちているので、きれいにさらえ、畝上にあげると芋周りの土の排水、根張りが良くなる。



篤農家の冬の谷上げ

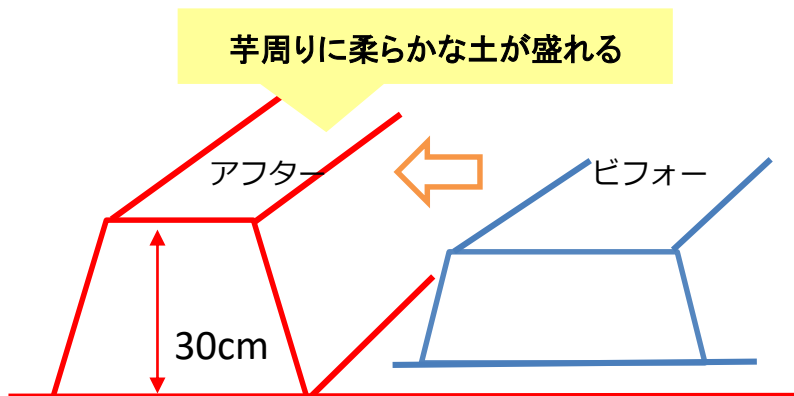
排水◎、芋周りの根張り◎

谷も歩きやすくなり、一石三鳥！

芋周りに柔らかな土が盛れる

5 畝高を30cmに盛る

耕土が浅く、高くない場合は、谷溝を広めにし谷溝の土を畝上にさらいあげる。



貯蔵中の種芋の腐敗、萌芽不良の対策

①罹病芋の除去

②貯蔵前の洗浄・種芋消毒※

③保湿

貯蔵中、芋の傷から病原菌が侵入するのを防ぎましょう。

乾燥させると、芋の活力が低下します。

※青かび病多発の場合、定植前消毒は種芋切断後ベルコートフロアブル*に浸漬

※詳しくは、10月26日の講習会で説明します。

*希釈倍数：200倍 使用時期：植付前 使用回数：1回
使用時は容器ラベルの記載内容を確認し、
使用基準を遵守しましょう。農業登録確認：令和3年10月5日時点

問い合わせ：JA丹波ささやま 営農指導課(TEL 079-556-2355)